21　　盗んだものは誰のものか

文法　助動詞⑥　む・むず・べし

読解　行動の理由をつかむ

ののもとに強盗乱入し、にありける物みな捜し取りだし終はりぬ。尼上、ばかりを着られけり。、枯れ色のを一つ落としたりけるを取りて、「これを落としてさうらひける。　㋐奉れ」とて、持て来たりければ、尼上いはく、「それも奪ひ取りたる後は、①わが物とこそ思ふらむに、の心行かざらⓐむ物をば、②いかでか着るべきぞや。遠く行かぬに、早く返しふⓑべし」と。よつて小尼公、に走り出でて、「やや」と呼びかへして、「これを落とさしめ給ひたれば、③奉らむ」と言ひければ、強盗ら立ち返りて、しばらく㋑案じて、「④あしく参りさうらひにけり」とて、取るところの物など、しかしながら、⑤返し置きて退散しけりと云々。

語注

安養の尼上＝平安時代中期の尼僧。大和の安養寺に住んでいた。

小尼公＝安養の尼上に仕えた尼僧。

小袖＝着物のひとつ。

【原文】

　安養の尼上のもとに強盗乱入し、房中にありける物みな捜し取り出だし終はりぬ。尼上、紙衾ばかりを着られけり。小尼公、枯れ色の小袖を一つ落としたりけるを取りて、「これを落としてさうらひける。奉れ」とて、持て来たりければ、尼上いはく、「それも奪ひ取りたる後は、わが物とこそ思ふらむに、主の心行かざらむ物をば、いかでか着るべきぞや。遠く行かぬ以前に、早く返し給ふべし」と云々。よつて小尼公、門に走り出でて、「やや」と呼びかへして、「これを落とさしめ給ひたれば、奉らむ」と言ひければ、強盗ら立ち返りて、しばらく案じて、「あしく参りさうらひにけり」とて、取るところの物など、しかしながら、返し置きて退散しけりと云々。

問一　次の「内容わしづかみ」の空欄に本文中の語句を書き入れよ。

強盗に入られた尼上が［　　　　］だけを着ているので、小尼公は［　　　　］が落としていった［　　　　　　　　　　　　］を持ってきた。ところが尼上は、強盗に返すよう小尼公に指示した。そこで小尼公は、強盗を呼び止め、渡そうとした。すると強盗は盗んだ［　　　］を返して退散した。

問二　波線部㋐・㋑の意味を答えよ（終止形でよい）。〈2点×2〉

㋐〔　　　　　　　　　　〕

㋑〔　　　　　　　　　　〕

問三　二重線部ⓐ・ⓑの助動詞の文法的意味として最も適当なものを選べ。〈3点×2〉

ア　意志　イ　推量　ウ　適当　エ　　オ　命令　カ　可能

ⓐ〔　　　〕

ⓑ〔　　　〕

問四　［チェック問題］助動詞⑥「む」「むず」「べし」

(1)　 次の活用表を完成させよ。〈1点×3〉

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| べし | | むず | む |  |
|  |  |  |  | 未然形 |
|  |  |  |  | 連用形 |
|  |  |  |  | 終止形 |
|  |  |  |  | 連体形 |
|  |  |  |  | 已然形 |
|  |  |  |  | 命令形 |
|  | |  |  | 接続 |

(2)　 次の傍線部の助動詞について、文法的意味を、問三の選択肢から選べ。〈2点×4〉

1　よ、の雪いかならむ。（枕草子）

2　家の作りやうは、夏をむねとすべし。（徒然草）

3　ここにて討ち死にせむずるぞ。（太平記）

4　羽なければ、空をも飛ぶべからず。（方丈記）

1〔　　　〕　2〔　　　〕　3〔　　　〕　4〔　　　〕

問五　傍線部①とあるが、Ⅰ誰が、Ⅱどのような物を「わが物」と思うと言っているのか。解答欄に合う形で答えよ。ただし、Ⅰは二字、Ⅱは五字以内とする。〈5点×2〉

［　Ⅰ　］が、［　Ⅱ　］小袖をわが物と思う。

Ⅰ〔　　　　〕

Ⅱ〔　　　　　　　　　　〕

問六　傍線部②・④の解釈として最も適当なものを選べ。〈4点×2〉

②　ア　着てもよいのだろうか。

　　イ　ぜひ着てもらいたい。

　　ウ　着るわけにはいかない。

　　エ　どんなものか着てみよう。

〔　　　〕

④　ア　丁重に返さなければならないだろうよ。

　　イ　正直に謝るのは気後れがすることよ。

　　ウ　何度も足を運ぶしかないであろうなあ。

　　エ　本当に悪いことをいたしましたなあ。

〔　　　〕

問七　傍線部③を現代語訳せよ。〈5点〉

〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

問八　傍線部⑤における強盗の説明として最も適当なものを選べ。〈6点〉

ア　尼上の言動に恐縮して、自分たちの行動を恥じている。

イ　小尼公の行動に奇異なものを感じ、関わるまいとしている。

ウ　尼上の慈悲深い言葉に心打たれ、出家を決意している。

エ　小尼公の様子を気の毒に思い、いたたまれなくなっている。

〔　　　〕

【解答】

問一　紙衾／強盗／枯れ色の小袖／物

問二　㋐=お召しになる　㋑=思案する〈2点×2〉

問三　ⓐ=エ　ⓑ=オ〈3点×2〉

問四　(1)〈1点×3〉

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| べし | | むず | む |  |
| べから | (べく) | 〇 | 〇 | 未然形 |
| べかり | べく | 〇 | 〇 | 連用形 |
| 〇 | べし | むず | む | 終止形 |
| べかる | べき | むずる | む | 連体形 |
| 〇 | べけれ | むずれ | め | 已然形 |
| 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 命令形 |
| 終止形  (ラ変型には  連体形) | | 未然形 | 未然形 | 接続 |

(2)　1＝イ　2＝ウ　3＝ア　4＝カ〈2点×4〉

問五　Ⅰ＝強盗（が）　Ⅱ＝奪い取った（小袖をわが物と思う。）〈5点×2〉

問六　②＝ウ　④＝エ〈4点×2〉

問七　差し上げよう。〈5点〉

問八　ア〈6点〉

【現代語訳】

案養の尼上の所に強盗が押し入り、部屋の中にあった物をすべて探し取り出し終わった。尼上は、紙で作った夜具だけを着ることができた。小尼公は、枯れ色の小袖を（強盗が）一つ落としたのを取って、「これを落としておりました。お召しになってください」と言って、持って来たところ、尼上が言うには、「それも奪い取った後は、自分の物だと思っているだろうから、持ち主の意が行き届かないような物を、どうして着ることができようか、いやできない。（強盗が）遠くに行かない前に、早くお返しなさい」としかじか。それで小尼公は、門に走り出て、「もしもし」と（強盗を）呼びかえして、「これを落としなさったので、差し上げよう」と言ったところ、強盗たちは引き返して、しばらく思案して、「悪いことをし申し上げましたものだなあ」と言って、取った物など、そっくりそのまま、返し置いて退散したとしかじか。

【補充問題】

問１　「それ」（３行目）が指すものを、本文中から抜き出して答えよ。

問２　「主」（４行目）とは誰のことか。本文中から抜き出して答えよ。

問３　「早く返し給ふべし」（５行目）について、

(1)　尼上はどのように考えてこのように言うのか。最も適当なものを選べ。

ア　持ち主が承知していない物は着ることができない。

イ　一度でも悪人の使用したものを着るわけにはいかない。

ウ　拾ったものは早く持ち主に返さなければならない。

エ　困っている人は悪人であっても助けなければならない。

(2)尼上はどのようなことを小尼公に言いつけたのか。二十字以内で答えよ。

【補充問題解答】

問１　（枯れ色の）小袖

問２　強盗（ら）

問３ (1) ア

(2) 強盗の落とした小袖を、強盗に返すこと。（19字）